

第132回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金								
貸	付	金	前	払	金	未	収	入	金	仮	払	金								
備		品	支	払	手	形	買	掛	金	借	入	金								
前	受	金	未	払	金	仮	受	金		減	価	償	却	費						
売		上	受	取	手	数	料	受	取	利	息	仕		入						
支	払	運	賃	支	払	手	数	料	修	繕	費	支	払	利	息					
手	形	売	却	損		備	品	減	価	償	却	累	計	額	雑		益	雑	損	
固	定	資	産	売	却	益		固	定	資	産	売	却	損						

1. 村上商店に対する貸付金 ¥ 400,000 を、半年分の利息とともに、同店振出しの小切手で回収した。なお、利息は年利1%である。
2. 備品(取得原価: ¥ 300,000、残存価額:ゼロ、耐用年数:6年)を4年間使用してきたが、5年目の期首に ¥ 80,000 で売却し、代金は売却先振出しの小切手で受け取った。減価償却費は定額法で計算し、記帳は間接法を用いている。
3. 備品 ¥ 800,000 を購入し、代金の全額を翌々月末に支払うことにした。この購入にともない発生した運搬費 ¥ 20,000 および据付費 ¥ 30,000 は現金で支払った。
4. 高梨商店から掛けで仕入れていた商品のうち、¥ 70,000 が品違いであったため返品した。この分は同店に対する掛け代金より差し引くこととした。
5. 出張中の社員から当座預金口座に振込みがあった ¥ 100,000 はその詳細が不明であったが、本日、得意先小笠原商店からの商品代金の内金であることが判明した。